

PJ No.	
基本情報（公開されます）	
日本語表記	
プロジェクト名称	有機物廃棄物現地資源化利用事業に関する意向書
日本側企業・団体名	一般社団法人日本有機物低温熱分解装置普及振興機構
中国側企業・団体名	浙江綠華環境科技有限公司
中国語（簡体字）表記	
プロジェクト名称	有机废弃物就地处置资源化利用项目
日本側企業・団体名	一般社団法人日本有機物低温熱分解装置普及振興機構
中国側企業・団体名	浙江绿华环境科技有限公司
中国側企業・団体の公式サイト（あれば）	
プロジェクトの状況について（概況のみ公開されます）	
プロジェクトの概要	効かつ効率的な資源化処理技術が注目されています。とりわけに、人口大国の中国において、廃棄物の資源化利用が各地での主要課題の一つでもあります。浙江綠華環境科技有限公司は設立以来、中国国内の廃棄物処理事業に尽力し、中でも、日本の環境技術の現地普及を積極的に取り込んでいます。2017年、新しい廃棄物処理技術を調査する際、一般社団法人日本有機物低温熱分解装置普及振興機構の小泉理事長と出会い、中国の廃棄物事業に意気投合して、強い味方となりました。今回の有機物廃棄物現地資源化利用事業は、中国国内の廃棄物問題に着目し、両社が共同で研究開発した有機物低温分解装置の実用化するプロジェクトです。有機物低温分解技術とは焼却方法ではなく燻蒸方法によるごみ処理装置の為、省エネルギーを目指した革新的な処置装置です。有機物低温分解装置の開発は一定の成果が得られましたので、調印後、両社で技術、設備の改良しながら、中国国内でのモデル事業を展開したいと考えています。今後、浙江綠華環境科技有限公司が中心となり、廃棄物の集中処理施設（ごみ焼却場）がない農村部や島などをターゲットに事業拡大したいと考えています。
対象サイト（省市）	浙江省
プロジェクトの属性	共同調査・研究・開発 実証事業
プロジェクト調印に際しての課題	日中両国において、生活習慣や事業ルールにより、廃棄物の種類（含水率、分解スピード等）や分別方法が異なることが課題です。また、廃棄物取扱方法も国によって違うので、廃棄物処理装置の普及にも更なる努力が必要と思われる。
調印有無	まだ調印していない
前日夕刻の事前調印式について	参加を希望する
中国側での申込について	完了した
当日の登壇予定者について	
日本側の調印企業が2社以上ある場合、2社目の登壇予定者に関する情報は「通信欄」に入力してください	
ご所属・役職	代表理事
氏名	小泉 賢司
姓ローマ字	Koizumi
名ローマ字	Kenji
日本側の連絡担当者	
こちらにご登録いただいた方に事前の参加要領を送付いたします。	

企業名・団体名	株式会社リRefineTechnolog
ご所属・役職	代表取締役
姓	黎
名	明
電話	07041419649
Email	rei.akito@refine-technology.com
通信欄	
補足事項など	弊社(株式会社RefineTechnology)は浙江緑華環境科技有限公司の協力事業で、上記のプロジェクトにおいて、コーディネーター役として参加しております。